

洋書輸入協会会報

VOL. 2
NO. 11

昭和43年11月

理事会報告

10月11日（金）

総務委員会より。43年下半年予算案提出、若干修正の上可決。

理事長代理より。British Publishers Mission 来日に関する相談、理事会との懇談会を設けることとする。

会報委員会より。アンケート結果報告。

価格査定委員会より。申請書式出来上りの旨報告。

洋書交換委員会より。本日より開始の秋季合同セールの出足好調の由伝えられる。

通関委員会より。東京外郵出張所との懇談会の様子を報告。

10月28日（月）

会報委員会より。記事が多く会報増頁が続く旨を報告、諒解を求める。

経営委員会より。賃金問題の才二回講演会開催を計画中の旨報告。

渉外PR委員会より。British Publishers Mission との懇談会開催についての打ち合わせ。その他二件。

洋書交換委員会より。10月11日～13日の合同特別セール結果報告。予想以上の成果を収め、且つ協会員が一つの事業を通じて対外的な交渉を持ったことの意義を述べられた。

通関委員会より。東京税関よりの注意事項伝達。

11月4日（月）

British Publishers Mission のメンバー全員に英国大使館の人をまじえ、洋書輸入協会理事との懇談会を三番丁ホテルで開催した。

Oxford 社ブラウン氏より先ず Mission を代表して来日の趣旨とメンバーの紹介があり、次いで理事長代理中田氏より、日本に英国書が輸入され始めてより百年を経過した今日、出版社の代表団を迎え、膝をつき合わせて懇談出来る機会を持つことが出来たのは大変喜ばしい旨を述べられ、且つ戦前才一位の輸入量を誇った英国書が、戦後そうでなくなったのは、諸状況の変化によるが、尚我々は英国書の今後の増勢を確信しているとの所信を披瀝された。

其の後討論に入ったが、代表団側の質問は、英国書の今後の売行きの見透し、及び売行きを増大するためにはどういう方法を必要とするかに集中し、理事会側が之に対して所見を述べるという形で進行した。

結局、理事会側の意見は、①ハイ・レベルの学術書を多く出版して貰いたい。②英国・日本間の郵送期間が最も長いのが重大な障碍であり、之を短縮するためにシベリヤ鉄道経由の方法を研究して貰いたい。③出来るだけ値段を安し抑えて貰いたい。の三項に要約される。

最後に代表団より、来年の東京での英国展に対する洋書輸入協会側の協力を求められ、終始熱心な意見を交換しあってこの懇談会を終了した。（相良記）

秋 季 合 同 特 別 セ ー ル 報 告

才一回洋書輸入協会主催合同特別セールは神田・東京古書館にて10月11日～13日の間華々しく行われました。在東京洋書直売業社30社参加と云うのは、当協会としては旅行、総会等の集会を除いておそらく初めての動員であったと思われます。これは直接各社が利益を上げるのと同時に、協会そのものの宣伝、協会と会員との連帯感、協会共同体の運営、同業者間の理解と懇親等、実に大きな役割をはたしたのではないのでしょうか。事実、最初の集会ではおたがい名も知らぬ委員同志が、その過程に於いて強い連帯感を持ちはじめ、各々の責任をはたすうち思いもかけぬ他社の能力に眼を見張り、且つ教えられるところすこぶる多かったのが現実です。又、丸善をのぞく各理事社が卒先参加し、委員会の方針に従っていただけたのも、すでに数年に亘って変化なしにすごし、いささか固定した感のある理事会の顔ぶれと一般会員の親近感を増すのに大いに役立ったと思われます。なお、協会外の著名書店からお祝いを頂いた事は洋書業界で、この事業がひろく評判になり、協会の存在を大ならしめている一つの現われではないのでしょうか。

最初の予定で600万円集まればよいと思われていた商品は、本番には一寸見当もつかない程の量になりました。各国の、各専門の、各水準の本があんなに集まったのはあまり見た事がありません。それが又、雑然としている所が如何にも楽しいもので、本の虫にはたまらないところです。お客様は朝早くから開場と同時につめかけました。3日目の冷たい雨の日曜日にも、レインコートからポタポタ雫をたらしながらの入場です。藤沢、鎌倉、昭島、府中、浦和、千葉。我々の素人くさいPRを、どこでこの方々は聞かれたのでしょうか。どんなにこの方々は本がお好きなのでしょうか。混雑の時はカウンターに列が出来ます。1人で5冊も6冊も重ねて持たれます。同じ本を全部買ってゆかれる方もいます。その間を古書籍商の鋭い眼が商品を当てて行きます。平均速度1分間2～3点の速さで商品が売れてゆきます。高い本、安い本、大きなもの、小さなもの、売れる棚、さっぱり売れない棚、他の会社の本で商売している人。好気心、研究心、活気、遂に3日間皆勤を自認するお客様まであらはれ、外国大使の顔ぶれも見えて合同セールの幕はおりました。5月から始まったこの計画は、10月25日の出品者会議の結果を10月28日理事会に報告して終ったのです。

なんと云っても、これはまだ試みの段階で、油をひかれ滑らかに活動する機械ではありません。協会が仲間うちの事ばかりでなく社会に直接結びついてゆく一つの過程であるにすぎません。そして、つまりはこの過程こそ、仲間内の懇親や調整から社会に対し一つの地位を占めてゆく過程こそ、我々の仕事の本当の意識であったのではないのでしょうか。年一回の東京名物にしたい。愛書家から待たれる目録をつくりたい。大阪や京都でも開きたい。もしも、もしもそうなった時は、この試みははじめて協会の事業と呼べるものになるのではないのでしょうか。(国際 服部Jr.)



(附 記)

参加社 30社

美術出版社
ゲーテ書房
医学書院
紀伊国屋書店
極東書店
内外交易
オリオン
タトル商会

オ三書房
白水社
イタリア書房
北沢本店
イー・メクレンブルグ
商会
ナウカ
三洋出版貿易
ユー・エス・アジアテ
ック

富士洋書
原書店
海外出版貿易
教文館
明治書房
日本出版貿易
竹内書店

福本書院
郁文堂出版
関東書籍
国際書房
三善
日本洋書販売配給
東光堂書店

アンケート集計 発送30社 回答18社

(A) セールまで

(1) セールの準備	充 分 10	普 通 7	不 充 分 1
(2) セールまでの連絡	よ し 11	普 通 5	不 充 分 2
(3) P R	行 き と ど く 1	よ し 11	行 き と ど か ぬ 5
(4) 目録	非 常 に 有 効 4	有 効 13	有 効 で な い 1
(5) 特報	非 常 に 有 効 0	有 効 13	有 効 で な い 4
(6) ハガキ	非 常 に 有 効 1	有 効 12	有 効 で な い 2
(7) ポスター	多 す ぎ る 1	よ し 13	不 足 4
(8) 貴方の準備は	充 分 で あ っ た 4	普 通 8	不 充 分 で あ っ た 6

(B) セール

(A) 客あし	盛 況 10	予 想 通 り 7	さ び し い 1
(2) 出品	多 い 9	予 想 通 り 8	少 い 1
(3) 貴方の売り上げは	予 想 より 多 い 1	予 想 通 り 12	予 想 より 少 い 1
(4) 運営	満 足 3	よ ろ し い 14	不 満 足 0
(5) 委員の顔ぶれは	よ ろ し い 10	ま あ ま あ 7	ダ メ で あ る 0
(6) 貴方の気持は	満 足 3	ま あ ま あ 12	不 満 足 2

(C) 明日の為に

(1) 来年も	是 非 参 加 し た い 17	不 明 1	参 加 し な い 0
(2) 来年参加の出品点数	多 く す る 11	変 ら ぬ 7	少 く す る 0

会 員 紹 介

堅実な経営をモットーに

三 品 書 店

洋書輸入協会の会員中もっとも小さいと、社主の三品要次氏が自称される三品書店は昭和27年10月1日に開店された。ストックを一冊ももたずに開店されたが、前金をそえて注文をくれた先輩がいたり、タイプライターを貸してくれた友人がいたりして、送金もでき、事務をはじめることができたとのことである。翌年2月にはじめて小包がはいったときには、地獄で仏様にあうとはこういうことかと、郵便屋さんには後光がさしていたとのこと。キリスト教の刊行物のみを扱っている三品書店は、三品氏のお人柄もあり、商品の性格もあって、手がたい経営をおこなうことを、創業当初からの方針としている。外国に対しては前金払い、国内取引ではほとんど代金引換え、という原則を16年間にわたって堅持されてきたことは偉とするにたろう。こういう堅実な内容の会社が、いよいよ発展してゆくことは、日本の洋書輸入業界のためにも慶賀すべきことであらう。

電子計算機と文献サービス

— TOSBAC-3400 IR のアプリケーション紹介 —

(その二)

東芝電算機勤務 佐 藤 邦 隆

2 SDIシステムについて

2-1 概 要

SDI とは、Selective Dissemination of Information の略で、情報検索に関係した5つの仕事のうち情報の検索と、配布の2つの役割を果たす。

このシステムは、あらかじめこのシステムに参加(登録)しているユーザについて、その人が興味を示す情報の種類を調査した資料をファイルとしてもっていることが大きな特長といえる。このシステムにおける情報検索、配布の方法として次の3通りがある。

- (1) 新しく文献が入手された時、それを読みたいと思っている人(その文献の主題に興味をもっている人)を検索し、その文献に関する情報あるいは、この文献のハードコピーを配布する。
- (2) 新しいユーザが登録されると、それまでに入手した情報の中から、そのユーザの興味をもつ情報を検索し配布する。
- (3) ユーザが主題、著者名などを指定して問い合わせを行ない、システムがこの問い合わせに該当する文献に関する情報または、システムに参加しているユーザの中から、その問い合わせに回答できそうな人を探索し回答として与える。

このような方法により、文献検索と配布という2つの機能を果たす。KWIC/KWOC同様実用的システムである。

2-2 システムが持つファイル

情報の検索と配布という2つの機能を果たすために、SDIシステムは、ユーザプロフィールと文献プロフィールという2つのプロフィールをファイルとしてもつ。

- (1) ユーザプロフィールとはユーザー一人一人の関心分野を表わすディスクリプタ〔ユーザが必要とする文献の主題を適切に表現している単語(キー・ワード)の群〕と該当の基準率(Pj)をユーザごとに調査してまとめたものである。
- (2) 文献プロフィールとは、文献の主題を構成するディスクリプタと著者名を文献ごとにまとめたファイルである。

この場合、文献が入手されたら、あらかじめ定められた分類基準に従い、主題分析を行ない、適切なディスクリプタを設定するのが通常の方法であるが、このシステムでは、この方法の他

に、文献の著者が与えた表題を構成する自然語の単語そのものをディスクリプタとする簡易的な方法をとることも可能にしてある。

2-3 検索の方法(※4図)

新しく入手した文献を必要とするユーザに選択配布するには、新しい文献が入手されると、その文献の主題分析をして、その文献に関する文献プロフィールを作り、その文献プロフィールと、ユーザプロフィールとを照合して、そのディスクリプタ同志の該当率(Pij)を計算し $P_{ij} \geq P_j$ を満足するように、文献に関する情報をユーザに配布する。但し

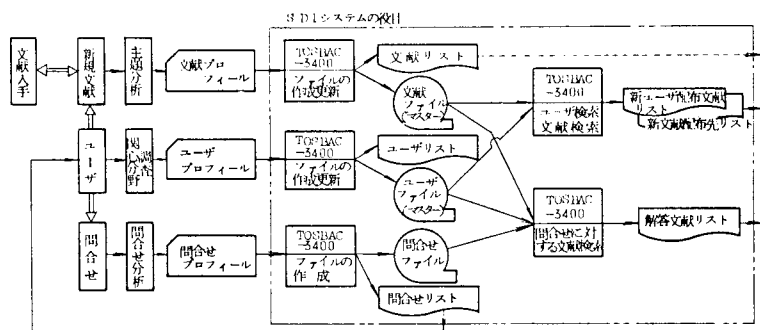
$$P_{ij} = \frac{\text{文献(i)の主題を構成するディスクリプタのうちユーザ(j)のディスクリプタと一致したものの個数}}{\text{文献(i)の主題を構成するディスクリプタの全数}} \times 100$$

同様の方法によって、新しくユーザが登録された場合そのユーザに必要な文献の情報を配布し、また問い合わせに対しても、同様に回答を与えることができる。

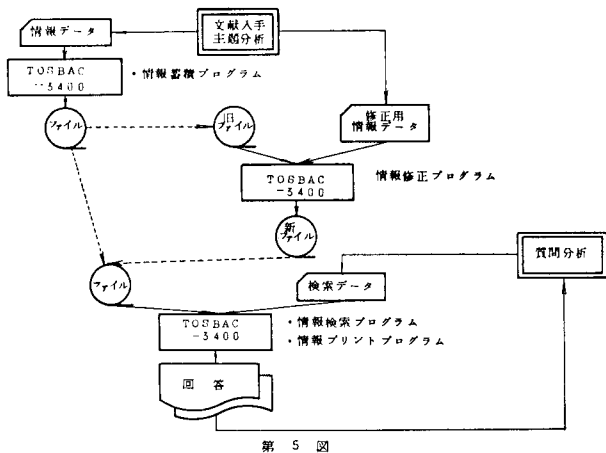
3 TISARシステムについて

3-1 概 要

TISAR とは、Toshiba Information Storage And Retrieval の略で、情報検索に関する5つの仕事の中から、情報の蓄積と、情報検索の2つの役割を果たす。すなわち組織が情報を入手すると、その組織内であらかじめ定めた分類基準に従って、主題分析を行なって、タイトル、サブタイトル、キー・ワード、分類グループなどを定め、その他に著者名、発行所、保管場所など任意の項目について分類した上、その組合わせによって情報データを作成し、情報の蓄積をする。また情報に関する問い合わせがあると、蓄積の場合と対応するような方法で、その問い合わせを分析し、任意の項目の AND、OR、NOT の組合わせによ



第 4 図



第 5 図

る検索データを作成し、情報検索を行ない、回答を与える。この TISAR システムの特長は、われわれが取扱う情報の長さ、項目がまちまちであることを考慮して、無駄のないように、情報の長さ、項目ともに variable に扱えるようにしたことである。すなわち、情報の長さについては、ファイルのレコードサイズを Variable Length とし、項目については、各項目ごとにコード化した特殊識別記号を用いることによって、任意の項目の組合わせで、蓄積、検索を行なうことができる。情報検索システムとして、本格的な機能をもったシステムといえる。

3-2 TISAR システムの機能 (才 5 図)

TISAR は、情報の蓄積、検索の 2 つの役割を果たすために、大きく分けて、次の 4 つのプログラムをサブルーチンとしてもつ。

- (1) 情報蓄積プログラム
- (2) 情報検索プログラム
- (3) 情報修正プログラム
- (4) 情報プリントプログラム

このシステムは、上記 4 つのサブルーチンを、FORTRAN あるいは、アセンブラで書いた、メインプログラムによって任意に組合わせて、情報の蓄積、蓄積情報の修正、情報検索、蓄積情報あるいは、検索情報のプリントアウトなどの仕事を自由に行なわせることができる。

3-3 情報データおよび検索データの編集について

TISAR では、情報の長さ項目の数などがまちまちであるため Fixed Length で取扱うと無駄が多くなる。これを避けることを考え、Variable とし、各項目ごとにコード化した特殊識別記号を用いている。

次にその特殊識別記号の表と、それを用いた、情報データ、検索データの作成方法を説明する。

(1) 情報データの作成方法

1 文献データは @ENT で始まり @END で終わる また 2 個の @ 識別記号にはさまれた、2 個以上のタームはをもって区別する。

〔例〕

Descriptor が COMPUTERS ELECTRONIC の 2 つの場合 @SUB COMPUTERS, ELECTRONIC @..... と書く。

(2) 検索データの作り方

検索命令は、@ENT で始まり、@END で終わる。質問の論理式表現に使える特殊識別記号は @TIT, @AUT, @COR, @SUB, @ACC, @SOU, @IDE である。@DAT はデータ式を入れる。また論理式で使う記号の意味は、次の通り。

" / " NOT

" + " OR

" , " AND

〔例〕

Discriptor が COMPUTER か COMPUTER SYSTEM で Autho が T・TOSHIBA の情報を探索する場合

@SUB (A+B)

@AUT C

@DAT A=COMPUTER, B=COMPUTER SYSTEM, C=T・TOSHIBA

(TOSBAC NEWS No. 28 から転載)

特別識別記号表

第 1 表

	記 号	意 味	備 考
1 共通項目	@ ENT @ END @ EOF	1 データの始まりを表わす 1 データの終わりを表わす end of file	
2 情報データ項目	@ ABS @ ACC @ AUT @ COR @ FLD @ IDE @ LIB @ PAG @ SOU @ SUB @ TIT @ TOK @ REF @ BAN @ SEC @ PRI @ XXX @ YYY	巻 号 Accession Number Author name Corporate Author Field group Identifier 保管場所 Page 数 Source Journal / Report No Descriptors Title 発行年月日 Reference 整理番号 秘 区 分 価 格 予 備	承認番号〔例〕AD-5510 著者名 発行所 分類グループ名 〔例〕電子工学、哲学 情報ののっていた本の名 Keyword 表 題
3 検索データ項目	@ TIT @ AUT @ COR @ SUB @ ACC @ SOU @ IDE @ PER @ DAT	Title の Retrieval Author の Retrieval Corporate Author の Retrieval Descriptors の Retrieval Accession No の Retrieval Source Journal の Retrieval Identifier の Retrieval 要求者氏名所属、受付番号、年月日 Data	
4 ファイルヘッダラベル項目	@ DLR @ DFR @ FNM @ FNO @ NRU @ NWU	最終登録年月日 使用開始年月日 ファイル名称 ファイル番号 赤点されたブロック数 赤点されたワード数	

洋書こぼれ話

「第一次世界大戦直後から昭和初頭に至る独逸書の輸入について」

(その三)

国際書房 服 部 正 喬

(B) 社会主義関係の書籍

上記のテーマを掲げたものの何分四十何年も前のことで記憶が薄らいできており、現在社会主義文献は殆んど扱っていない私には、仲々手をつけにくいので小泉信三先生の「マルクス死後五十年」を披いてみた。そこにある文献は殆んど私は手掛けた記憶がある。その記憶で確めながら記述を進めることにする。先年 Back Number の要件で岐阜の大学に行ったとき、学長の名を聞いてその学長が国際書房の神戸の店でマルクスの資本論を買われたことを思い出して、懐しく思った。その資本論は Engels 版で Hamburg の Otto(?) Meissner 書店発行のものと記憶する。例の大震災の前後だったと思う。安かったせいもあろうが、経済学の学徒といえ、先生も学生も Marx の Das Kapital は必携必備の書物と思われた状態だった。其後次に掲げる Marx, Engels の著書と共に大量の社会主義関係(共産主義無政府主義を含む)の文献がわが国に流れ込んだ、先づ Marx と Engels の文献を其の創刊年を() 内に入れて列記する。私の与えられた年代にはこれ等の書物は数版を重ねていた。

Marx, Heinrich Karl

- Der Bürgerkrieg in Frankreich. (1871) (Dietz)
Das Elend der Philosophie. Antwort auf Proudhons Philosophie des Elends. Deutsch von Bernstein u. Kautsky. (1847)
Die Heilige Familie (with Engels) (1845)
Die Inauguraladresse der internationalen Arbeiter-Assoziation Uebersetzt von Louise Kautsky.
Die Klassenkämpfe in Frankreich 1848-50. Mit Einleitung v. Frdr. Engels u. Vorwort v. August Bebel. Lohnarbeit und Kapital.
Randglossen zum Programm der Deutschen Arbeiter-Partei.

- Manifesto der Kommunistischen Partei. (1848)
Zur Kritik der politischen Oekonomie (1859) (Dietz)
Briefe an Kugelmann (Vereinigt internatl. Vlgsganst.) Herr Vogt. (1860)
Kapital Bd. 1 (1867)
Kapital Bd. 2 (Hrsg. v. Engels) (1885)
Theorien über Mehrwert. 4 Bde. (Hrsg. Kautsky) (1905-10) (Dietz)
Deutsche Ideologie. (1932)

Engels, Friedrich

- Die Lage der arbeitenden Klasse in England (1845)
Herrn Eugen Dührings Umwälzung der Wissenschaft (1878)
Der Ursprung der Familie, des Privateigentums und des Staates. (1884) (Dietz)
Ludwig Feuerbach. (1888)
Die Entwicklung des Sozialismus von der Utopie zur Wissenschaft. (Vorwärts)
Grundsätze des Kommunismus. Hrsg. v. Bernstein.

- Marx - Studien. Hrsg. v. Max Adler u. Rudolf Hilferding.
Bd. 2 Bauer, O.: Die Nationalitätenfrage in die Sozialdemokratie.
Bd. 3 Hilferding, R.: Finanzkapital.
Bd. 4/2 Adler, M.: Die Staatsauffassung des Marxismus.
Bd. 5/1 Wirtschaftsuchnung in die sozialistischen Gesellschaft.
Marx - Engels Archiv. Bd. 1 & 2
Marx - Engels Gesamtausgabe. Historisch-kritische Gesamtausgabe. Werke, Schriften, Briefe. v.

Rjazanov. (Marx-Engels Vlg.)

Marx の Das Kapital は、はじめ Engels 版が出て、次に Kautsky 版が出、其後で Rjazanov 版、ついで Adratsky がこれを訂正して (Rjazanov と Adratsky は順序が逆かも知りません) 段々に版が訂正されていった。Marx Studien の中の Hilferding の Finanzkapital には猪俣津南雄氏の抄訳本が出ていた。或日同氏が初めて会社に来られて、懐しそくに経済の書物を見ておられたが、突然に自分が猪俣津南雄氏であること、昨日監獄から出たばかり等と話して帰られた。其頃の社会運動家は大変な読書家揃いらしい。又日本語が未だ出ていないせいであったろうが原書をよく購入された。又経済書の外に哲学書 (Hegel, Feuerbach 等の) を購入された。Finanzkapital は其後林要氏が金融資本論と題して岩波叢書で出して居られ素晴しく売れていたと聞いている。猪俣氏がどういう理由で引張られたのか知らんが、あの頃はよく社会科学の研究者 (?) が引張られた。店の客の中には減多になかったと思うが、よく店にこられた有名な大学の教授が、暫く見ないうちにゲッソリやつれてやせ衰えた姿を店に見せたことがあった。又水も滴たたる綺麗なうら若い女子大学生が、突然すっかり憔悴して来店されたこともあった。別荘に行っていたのだなと思ったか問いも出来ずにいた。今の学生運動に対する寛容さとは正に天地背壤の相違。今の人にはとても想像出来ぬ實際だろう。前記のマルクス及びエンゲルスの書物のほか、次の様な社会主義文献が輸入された。

- 1 Adler, G.: Geschichte des Sozialismus und Kommunismus von Plato bis zur Gegenwart. (Hirschfeld)
- 2 " : Der Marxismus als proletarische Lebenslehre (Lanl)
- 3 Adler, Max: Marx als Denker (Wiener Volksbuchh)
- 4 " : Die Bedeutung des Sozialismus. 4. Aufl.
- 5 " : Engels als Denker. (Dietz)

- 6 Bauer, O.: Der Weg z. Sozialismus. 3. Aufl. (Wiener Volksbuchh)
- 7 Beer, Max: Der allg. Geschichte d. Sozialismus u. d. sozialen Kampf. (Vlg. f. Sozialwis)
- 8 " : Die Geschichte des Sozialismus in England. (Dietz)
- 9 Bebel, August: Die Frau und der Sozialismus. (Dietz)
- 10 Bernstein, E.: Die Voraussetzungen d. Sozialismus und die Aufgaben der Sozialdemokratie.
- 11 " : Lassalle und der Sozialismus.
- 12 " : Was ist Sozialismus?
- 13 " : Der Sozialismus einst und jetzt. (Dietz)
- 14 Borchardt, J.: Einführung in d. wissenschaftliche Sozialismus. (Lanl)
- 15 Brentano, L.: Ist die "System Brentano" zusammengebrochen? Ueber Kathedor-Sozialismus u. altn und neuen Merchantilismus.
- 16 Bucharin, N.: Oekonomik des Transformationsperiode. (Uebers. aus d. Russ. v. F. Rubino)(Hoym)
- 17 " : Theorie des historischen Materialismus. (Hoym)
- 18 " : Der Imperialismus u. d. Akkumulation des Kapitals.
- 19 " : Imperialismus u. Weltwirtschaft.
- 20 " : Die politische Ökonomie des Rentners.
- 21 Cathrein, V.: Der Sozialismus.
- 22 Cunow, H.: Die Marxsche Geschichts-, Gesellschafts, und Staatstheorie. Bd. I/II (Dietz)
- 23 Dietzel, H.: Beiträge zur Geschichte d. Sozialismus und Kommunismus.
- 24 Diehl, K.: Ueber Sozialismus, Kommunismus und Anarchismus. (Fischer)
- 25 Eckstein, G.: Kapitalismus und Sozialismus. (Wiener Volksbuchh)
- 26 Ehrenberg, R.: Gegen den Kathedorsozialismus.
- 27 Eucken, R.: Der Sozialismus und seine

- Lebensgestaltung.
- 28 Feuerbach, R.: Das Wesen des Christentums. (Kröner)
- 29 // : Das Wesen der Religion. (Kröner)
- 30 Grünberg, C.: Hauptwerke d. Sozialismus und der Sozialpolitik.
- 31 Hillebrand, O.: Sozialismus oder Kommunismus.
- 32 Kautsky, K.: Kritik ü. Materialst. Geschichtsauffassung.
- 33 Kelsen, H.: Sozialismus und Staat. (Hirschfeld)
- 34 // : Marx u. Lassalle. (Hirschfeld)
- 35 Kuhlo, A.: Kathedorsozial. Irrwege.
- 36 Lassalle, F.: Auswahl von Reden und Schriften. (Dietz)
- 37 // : Nachgelassene Briefe. (Dt. Vlganst)
- 38 // : Gesammelte Reden und Schriften. 12 Bde. (Fock)
- 39 Der lebendige Marxismus. Festgabe z. 70 Geburtstag. v. Karl Kautsky in 4 Abtgn.
- 40 Liebknecht, K.: Reden und Aufsätze (Hoym)
- 41 Luxemburg, R.: Akkumulation des Kapitals. (Vereinigg internat. Vlganst.)
- 42 Marxismus und Naturwissenschaft. Gedenkschrift z. 30. Todestage d. Naturwissenschafters Friedrich Engels.
- 43 Marx-Engles: Aus dem literarischen Nachlass 1841-1850. Hrsg. v. Franz Mehring. 3 Bde.
- 44 Mautner, Wm.: Der Bolshevismus. (Kohlhammer)
- 45 Mehring, Franz: Geschichte d. deutschen Sozialdemokratie. 2 Bde. (Dietz)
- 46 Oppenheimer, I.: Kapitalismus-Kommunismus-Wissenschaftlicher Sozialismus. (Gruyter)
- 47 Palyi, C.: Der Kommunismus, sein Wesen, sein Ziel, seine Wirtschaft. Hrsg. von E. Bernstein.
- 48 Pöhlmann, R. v.: Geschichte d. sozialen Frage und d. Sozialismus in d. antiken Welt. 2 Bde. (Beck)
- 49 Schöffle, A. E. F.: Die Quintessenz d. Sozialismus. (Perthes)
- 50 Sinowjev, G.: Vom Werdegang unser Partei. (Hoym)
- 51 Stammer, R.: Sozialismus und Christentum.
- 52 Stein, L. v.: Geschichte d. sozialen Bewegung Frankreich von 789 bis auf unsere Tage. 3 Bde. (Drei Masken)
- 53 Trotski, L. N.: Terrorismus u. Kommunismus. Anti-Kautsky. (Hoym)
- 54 Varga, E.: Die Krise der kapitalischen Weltwirtschaft. 2. Aufl. (Hoym)
- 55 // : Die wirtschaftlichen Probleme der proletarischen Probleme, usw. (Hoym)
- 56 Vorländer, K.: Kant und Marx. Ein Beitr. z. Philosophie d. Sozialismus. (Mohr)
- 57 // : Marx, Engels und Lassalle als Philosoph. 3. Aufl.
- 58 Vorläufer des neuen Sozialismus, von Kautsky, Lafargue u. a. 4. Bde. (Dietz)
- 59 Zetkin, Cl.: Um Rosa Luxemburgs Stellung zu russischen Revolution. (Hoym)
- 60 Lenin, W. I.: Ausgewählte Werke.
- 61 // : Agrarfrage in Russland am Ende 19. Jahrhundert.
- 62 // : Zur Agrarpolitik d. Bolschewick.
- 63 // : Kinderkrankheiten des Radikalismus in Kommunismus.
- 64 // : Lehre der Revolution.
- 65 // : Staat und Revolution.
- 66 // und Sinowjev; Gegen den Ström; Aufsätze aus d. J. 1914-1916.

これ等の書物は当時のインテリ階級の人々だったら皆な

っかしい思いのする書物ばかりだろう。この中には当時書店の心配した所謂“発禁”(発売禁止)の書物が入っていないと思う。発禁に対する刑罪に付いては知らなかったが、何分警視庁が怖かったから、その噂を聞くと怖毛を振って取扱わなかった。Manifesto や Lenin の Staat und Revolution や Lenin の Que fair? Kommunistische Internationale 等は其発禁の書物だったと思う。勿論発禁と聞く迄は客の要求があれば取寄せもした。Unter dem Banner des Marxismus という雑誌が出た。意匠装幀が少々魅力的だったが、やがて日本でこれと全く同じ体裁の「マルクスの旗の下に」と云う雑誌が出た。余り続かなかったようだ。

或る国立大学の経済学部研究室の副主任から経済文献の充実について相談を受けたとき、左翼文献の継続物として Marxistische Bibliothek の備付を献言したことがある。値段の安い本だが中味は中々立派なものである。

Marxistische Bibliothek

(Mは当時の発行価格MARKの略)

- 1 Lenin, N.: Der Imperialismus als jugnte Etappe des Kapitalismus. M2.30
- 2 Bucharin, N.: Die politischen Ökonomie des Rentners. M4. —
- 3 Engels, Frdr.: Ludwig Feuerbach und der Ausgang der klassischen Philosophie. M2.30
- 4 Karl Marx als Denker, Mensch und Revolutionär. M3.50
- 5 Stalin, J.: Probleme des Lenismus. M4. —
- 6 do.: Auf dem Wege zum Oktober. M3.50
- 7 Marx, K.: Der 18. Brumaire des Louis Bonaparte. M2.50
- 8 Stalin, N.: Agitation und Propagande. M3.50
- 9 Bucharin, N.: Der Imperialismus und die Akkumulation des Kapitals. M3. —
- 10 Lenin, N.: Ueber Gewerkschaften. M2.50
- 11 Rothstein, Th.: Beitrag zur Geschichte der

Arbeiterbewegung in England. M3. —

- 12 Bucharin, N.: Imperialismus und Weltwirtschaft. M3.60
- 13 Thalheimer & Deborin: Spinozas Stellung in der Vorgeschichte d. dialektischen Materialismus. M3. —
- 14 Thalheimer: Einführung in die dialektischen Materialismus. M3. —
- 15 Luppöl, J.: Lenin und die Philosophie. M4. —
- 16 Kritsmann, L.: Die heroische Periode d. grossen russischen Revolution. M3. —
- 17 Pokrovsky, M. N.: Historische Aufsätze. M2.50
- 18 Lenin, N.: Tolstoi im Spiegel des Marxismus. M3.50
- 19 Lenin, N.: Staat und Revolution. M2.50
- 20 Engels, Frdr.: Der deutsch-französische Krieg 1870/71. M5.50
- 21 Plechanov.: Die Grundprobleme des Marxismus. M3. —
- 22 Paschukanis, E.: Allgemeine Rechtslehre und Marxismus. M4. —
- 23 Lenin, W. I.: Aus d. philosophischen Nachlass. M6. —

「マルクス死後五十年」の所々を見て、「マルクス」に圧倒される思いがした。先輩の岡田さん(富士通社長)から貰った「労働運動の背後にあるもの」の中にあるシュムペーターのマルクス評を読んで之にも圧倒される思いがした。心に余裕が出来たら前記の「死後五十年」でも少し落着いて読めたらと思う。東大の図書館が今夜封鎖されるだろうとの新しい報を聞き、昔の我国だったら問題にならないのにとったり、マルクスだったら此際どう云う手を打つかと思ったり、何れしても本当に痛心傷心の大事と案じながら此稿を閉じる(11月12日)。(補、文中国立大学研究所副主任にと云うのは、悲境の中にその職をさられた大河内前東大総長である。顧みて感慨にたえない。)

洋書の在庫管理の必要性

現在の洋書業界に於ては、如何に在庫管理がなされ如何なる仕入がなされているかは詳らかでは無いが、私の知る範囲に於ては会社の熟練した仕入担当者の勘に依存している場合が多い様だ。偶々私が過去1,2年間に一部分の在庫管理を数字的にとらへて見たが、人間の勘と実際の数字的な動きとは随分違っている。詳しい事は紙面の余白上省く

海外ニュース

英国の出版点数著増

今年の一月から九月までの三四半期で、英国の出版社は、昨年同期よりも391点多い23,144点を出版した。1967年の総出版点数は29,619点であったが、1968年は年度末までに史上初の30,000点を越すことはほぼ確実と見られている。

今年の最初の9カ月間における新版及び再刊書は6,381点で、昨年同期よりも1,411点多い。261点減少した児童書は別として、この増加の傾向は、下記のように、ほぼあらゆる分野にわたっている。

	1967年1~9月	1968年1~9月	増減
美術	464	666	(+ 202)
伝記	595	645	(+ 50)
化学・物理	558	604	(+ 46)
児童書	1,774	1,511	(- 263)
商業	473	522	(+ 49)
教育	525	611	(+ 86)
工学	762	669	(- 93)
小説	3,166	3,231	(+ 65)
歴史	1,030	1,206	(+ 176)
産業	521	521	—
法律・行政	490	609	(+ 119)
文学	738	964	(+ 226)
医学	907	924	(+ 17)
自然科学	528	621	(+ 93)
政治	1,445	1,448	(+ 3)
宗教	1,044	1,030	(- 14)
教科書	1,423	1,437	(+ 14)
社会学	395	375	(- 20)
旅行案内	483	578	(+ 95)
総計	21,735	23,144	(+1,391)
再版	4,970	6,381	(+1,411)

(The Bookseller 1968年10月26日号より)

が、一番驚いた事は優良なる商品の仕入数量が実際の受注数量に対して案外少なくて屢々品切れにして売損しているケースが多い事だ、(此の数字は品切れで納入出来なかった数字を記録する必要がある。)之だけを是正する事によっても相当売上は増大出来るし不良在庫の増大を防ぐ事も出来る。今後増々在庫の増大する洋書業界にとって数字的な管理に基く仕入方針の確立は大きな課題だし、之を達成する業者が合理的経営の最も近道を歩む者と云える。死蔵された在庫商品の多い業者は、やがて黒字倒産への道に通じる事を銘記すべきだ。(M記)

ロバート・マックスウエル氏

パーガモン・プレス社の社主、ロバート・マックスウエル氏は、最近、英国最大の発行部数をもつ日曜新聞「ザ・ニュース・オブ・ザ・ワールド」の買収に乗り出し、「ザ・エコノミスト」誌10月26日号、「パブリッシャーズ・ウィークリー」11月4日号、更には「ジャパン・タイムズ」10月18日号に紹介されるほどその華々しい活躍が話題になっている。

ロバート・マックスウエル氏は、チエコスロバキアの農場労働者の子息で、第二次大戦中はチエコスロバキアの地下運動に加わって捕えられ、投獄された。その後、フランスとジブラルタル経由で英国に亡命し、年令を16才といつて英国陸軍に入隊し、ナチに対する斗争を続けた。ノルマンディー上陸作戦にも参加し、陸軍大尉となり、戦功十字章を受けている。

戦後、マックスウエル氏は、軍からの下賜金30ポンドを元に、パーガモン・プレス社を創立し、現在では約1,700万ポンドの大出版社に育て上げた。

同氏は、戦後も社会主義に積極的な関心を寄せ、英国議会の労働党の議員となっている。

(Japan Times 10月18日号、The Economist 10月26日号、Publishers' Weekly 11月4日号より)

オランダの出版社が合同会社を設立

オランダの出版社、C. de Boer, Jr., Paul Brand, C.A. J. van Dishoeck, Fibula-Van Dishoeck, W. de Haan, Van Holkema & Warendorf, Spiegel Historiae, De Vrouw & Haan Huis の各社が合併して、Unieboek という会社設立された。

この新会社の現有タイトルは合わせて1,500点となり、今後年に約200点を出版の予定である。これでこの新社はオランダで十指に入る大出版社となった。マネージング、ディレクターには C. A. J. van Dishoeck 氏が当ることになった。

(Publishers' Weekly 11月4日号より)

——紀伊国屋書店提供——

NEWS欄

- 英国出版業訪日代表团11月上旬来日。
メンバー下記の通り。

Mr. J.G.N. Brown, C.B.E	Oxford University Prss
Mr. C. T. Clark	Pergamon Press Ltd.
Mr. André Deutsch	André Deutsch Ltd.
Mr. Colin Eccleshare	Cambridge Univessity Press
Mr. Graham C. Greene	Jonathan Cape Ltd.
Mr. Alan Hill	Heinemann Educational Books Ltd.
Mr. John Chapple	Longmans, Green & Co. Ltd.
Mr. Robert Lusty	Hutchinson & Co. Ltd.
Mr. B. Howard Mudditt	Paternoster Press

Mr. Max Reinhardt	The Bodley Head Ltd.
Mr. J. A. Rivers	The Bracken House Group
Mr. T. G. Rosenthal	Thames & Hudson Ltd.

- 米 D. Van Nostrand Co., Inc. の Vice President の Mr. Oliver A. Vieter 10月下旬来日。

- ソ連国際図書公団（メジ・クニーガ）総裁マカロフ氏 10月下旬来日。

- コリヤー・マクミラン・インターナショナルの日本代表として石神幸宏氏が就任されました。

◎西独マルク切上げか？

今春米マルクの切上げについて各種の憶測がなされているが、最近西独の取次店よりの文書では「切上げは今年末又は明年初め、切上げ率は5%—10%、その場合 D.Guilder の変動はないであろう、Sw. Fr. と It. Lira については同時切上げが行はれるか否か不明。」との予測がなされている。

Publishers' Representatives

当社は下記英国出版社の国内代理店として活躍しております。

弊社代表出版社名

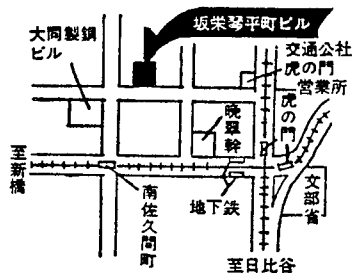
Associated Book Publishers Ltd.,	Constable & Co. Ltd.,
Ernest Benn Ltd.,	Macmillan & Co. Ltd.,
Sir Isaac Pitman & Sons Ltd.	

尚12月1日より Andre Deutsch Ltd の国内代理店に指定されましたので、合せてお引立の程をお願い申し上げます。

展示時間

平日 9:30AM~5:30PM

土曜日 9:30AM~3:00PM



お問合せは下記へ

Books For Asia Limited

東京都港区芝琴平町30番地

(坂栄琴平町ビル 6 階)
Tel (501) 5982

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

㈱ 南 江 堂 ☎ (811) 7234

Elsevier Publishing Company

Function of the Nervous System, in 4 Vols. (by M. Monnier)

Vol. 1: General Physiology, Autonomic Functions.	1968年11月発行	¥ 18,000
Vol. 2: Motor Functions.	1969年発行予定	in prep.
Vol. 3: Sensory Functions.	1969/70 //	in prep.
Vol. 4: Psychic Functions.	1970 //	in prep.

Atherosclerosis: Pathology, Aetiology, Diagnosis and Clinical

Management. (by C. Schettler & G. S. Boyd) 1969年1月発行予定 ¥ 24,000

Brain Diseases. (by A. Biemond) 1969年4月 // in prep.

㈱ 紀 伊 国 屋 書 店 ☎ (354) 0131

Caedmon Records, Inc. (New York) All Records and Tapes.

お知らせ

次の通り番地電話変更通知がご座いましたのでお手許の
会員名簿の訂正をお願い致します。

——訂正箇所

㈱ 教文館、東京都中央区銀座4—5—1

全 上 京都営業所、京都市下京区花屋町通大宮西
入 織原ビル

㈱ 三省堂書店洋書部 ☎ (293) 8119代

当社では洋書関係者に回覧しておりますが、業界に接触の
多い人とそうでない者とは興味のあり方が異なるようで、
若い人等はこちらと実務にプラスするような記事が欲しいと
の要求があります。「会員紹介」は割合好評ですが、あま
り宣伝臭の強いのは避け「紹介」に徹してもらったと思
います。スタッフの方も大変でしょうが今後も充実した紙
面を期待します。(オナプロ生)
◎係より：この欄への投稿歓迎します。200字位。紙上匿
名は自由です。

計 報

北村徳太郎氏 洋書輸入協会名誉会長

毎月の会報御苦勞様です。初めは番号で中断されるかと
思っていたところ、長続きしているので感心しています。

かねて病氣療養中の所去る11月15日永眠されましたので
茲に謹んで哀悼の意を表します。

投書から

昭和43年11月 通巻第19号 洋書輸入協会 編集者 寺 久 保 一 重
☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1—15—5 藍沢ビル302号室 ☎ 271—6901
☎ 530 関 西 支 部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371—5329